

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）
事後評価結果

1. 補助事業課題名 : 糖尿病の個別化栄養治療を支援する新医療機器プログラムの開発・事業化
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 松尾 恵太郎（株式会社 asken）

<評価コメント>

食事療法における患者への食事指導と医療者による治療計画策定支援・管理を連動させることにより、食事指導内容の均てん化と個々の患者への食事指導内容が多様化することによる継続性の確保の可能性を高めるとしている。2 型糖尿病は高脂肪食の過食などの生活習慣の乱れが原因であることが明らかであり、本アプリのコンセプトは併用治療の観点からも有用であることが期待出来る。しかしながら、体重減少のためのアプリであれば、既に巷に無数の競合が存在するため保険償還の可能性は低いため、事業化について検討されたい。

以上